

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	UVGEL 356A /B/C INK YELLOW
製品コード	1965C031AA, 1965C027AA, 1965C023AA
他の特定方法	
Article Number	1070092857, 1070092856, 1070092854
供給元	キャノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社
住所	港区港南2-13-29キャノン港南ビル
市	東京都
国	日本
電話番号	03-6719-9700
メールアドレス	sds-hq@cpp.canon
緊急連絡電話番号	
NCEC Service	+81 345 789 341 For chemical emergencies only.
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	インクジェットプリンタ用インク。
使用上の制限	その他の用途は推奨されていません。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。	
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2
	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分1B
環境に対する有害性	水生環境有害性 (長期間)	区分2

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。強い眼刺激。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん (鹼) で洗うこと。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

保管

なし。

廃棄

なし。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

その他の情報

なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。

非常事態の概要

強い眼刺激。皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。生殖に影響を与えることがある。水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

Mixture

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE	94108-97-1			25 - < 50
Neopentylglycol Hydroxypivalate Diacrylate	30145-51-8	(2)-2740	(2)-2740	10 - < 30
(4-tert-butylcyclohexyl) Prop-2-enoate	84100-23-2			5 - < 10
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	84170-74-1			5 - < 10
Propylidynetrimethanol, Ethoxylated, Esters With Acrylic Acid, Reaction Products With Diethylamine	159034-91-0			5 - < 10
Ethyl 4-dimethylaminobenzoate	10287-53-3	(3)-3788	4-(7)-1374	1 - < 5
Neopentyl Glycol Diacrylate	2223-82-7	(2)-1007, (2)-958	(2)-1007, (2)-958	1 - < 5
ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes	68511-62-6			1.6
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	162881-26-7	(3)-4445		< 1
GLYCEROL PROPOXYLATE TRIACRYLATE	52408-84-1			< 0.25
Trimethylolpropane Triacrylate, Ethoxylated	28961-43-5			< 0.25

化学式

C24H34O9 (94108-97-1), C16H24O6 (30145-51-8), C13H22O2 (84100-23-2), (C3H6O)_n(C3H6O)_nC11H16O4 (84170-74-1), C11H15いえ 2 (10287-53-3), C11-H16-O4 (2223-82-7), C26H27O3P (162881-26-7), (C2H4O)_n(C2H4O)_n(C2H4O)_nC15H20O6 (28961-43-5), (C3H6O)_n(C3H6O)_n(C3H6O)_nC12H14O6 (52408-84-1)

4. 応急措置

吸入した場合

症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この説明書を持参し、医師の診察を受ける。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

目に入った場合

直ちに多量の流水で最低15分間目を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

該当しない。製品の形状から、該当しないと考えられる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

応急措置をする者の保護

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。(可能ならばラベルをみせる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

医師に対する特別な注意事項

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO2) 。

使ってはならない消火剤

消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災時の特有の危険有害性

火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法

危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性

異常な火災や爆発の危険性は知られていない。

特定の消火方法

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト/蒸気の吸入を避けること。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面に排出しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機械

水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。

大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

二次災害の防止策

該当しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項

使用前に取扱説明書入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。ミスト/蒸気の吸入を避けること。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。

接触回避

詳細については、本SDSの項目10を参照。

適切な衛生対策

あらゆる医学的監視要件を遵守すること。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。

安全な容器包装材料

元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値）および管理濃度

作業環境評価基準(昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号)別表

成分

タイプ

数値

ニッケル, 5
,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-
pyrimidinetrione complexes
(CAS 68511-62-6)

管理濃度

0.1 mg/m3

設備対策

適切な換気を行う。プリンタのオペレータマニュアルまたは安全データシートをご覧ください。

保護具

呼吸器の保護具

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。この商品の通常の用途には必要ありません。

手の保護具

適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。手袋の材料：ニトリル。。破過時間が10分の手袋を使用すること。手袋の最小厚さ0.12 mm。手袋の材料：Nitril。破過時間が480分の手袋を使用すること。手袋の最小厚さ0.4 mm。
Ansell Microflex ® 93-260 (60 minutes)

目の保護具

接触の可能性がある場合、サイドシールドのついた安全メガネが望ましい。

皮膚及び身体の保護具

この商品の通常の用途には必要ありません。

9. 物理的及び化学的性質

外観	液体.
物質の状態	液体。
形状	液体.
色	黄色
臭い	僅か
pH	データなし。
融点・凝固点	-67 °C (-88.6 °F) / -82.9 °C (-117.21 °F) 推定値
沸点、初留点と沸騰範囲	225.36 °C (437.66 °F) 推定値
引火点	143.2 °C (289.8 °F)
燃焼性 (固体、ガス)	該当しない。
燃焼又は爆発範囲	
燃焼範囲 - 下限(%)	データなし。
燃焼又は爆発範囲 - 上限	データなし。
爆発下限界 (%)	データなし。
爆発上限界 (%)	データなし。
蒸気圧	8.2 hPa 推定値
蒸気密度	データなし。
比重	データなし。
溶解度	
水溶性	データなし。
n-オクタノール / 水分配係数	データなし。
自然発火温度 (発火点)	351 °C (663.8 °F)
分解温度	データなし。
粘度 (粘性率)	498 mPa·s (17 °C (62.6 °F))
その他の情報	
密度	1.07 g/cm3 (25 °C (77 °F))
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
揮発性有機化合物	0.01 % 推定値

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学安定度	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	危険有害性の重合は発生しない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。
その他の情報	データなし。

11. 有害性情報

急性毒性 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。

成分	種	試験結果
(4-tert-butylcyclohexyl) Prop-2-enoate (CAS 84100-23-2)		
急性 経口	LD50	ラット > 2000 mg/kg体重/日, 14 日間

成分	種	試験結果
DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE (CAS 94108-97-1)		
急性 吸入 蒸気		
LC50	ラット	> 0.41 mg/l, 7 時間 Read across
経口		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg OECD401
経皮		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg, 24 時間
Ethyl 4-dimethylaminobenzoate (CAS 10287-53-3)		
急性		
経口		
固体		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg体重/日
経皮		
固体		
LD50	ウサギ	> 2000 mg/kg体重/日
GLYCEROL PROPOXYLATE TRIACRYLATE (CAS 52408-84-1)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg
経皮		
LD50	ウサギ	> 2000 mg/kg, 24 時間
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide (CAS 162881-26-7)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg
経皮		
LD50	ラット	> 2000 ml/kg
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE (CAS 84170-74-1)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg
経皮		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg, 24 時間
Trimethylolpropane Triacrylate, Ethoxylated (CAS 28961-43-5)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 500 mg/kg
経皮		
LD50	ウサギ	> 13200 mg/kg
ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes (CAS 68511-62-6)		
急性		
吸入		
LC50	ラット	> 5222 mg/m3, 4 時間 OECD 403
経口		
LD50	ラット	> 5000 mg/日 OECD 401
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚刺激。	

刺激性腐食性 - 皮膚

PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL
DIACRYLATE
ニッケル , 5
,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione
complexes
DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE

OECD 404
結果: 刺激性でない
OECD 404
結果: 刺激性でない
OECD 404
結果: 刺激性でない
種: ウサギ
OECD 404
結果: 刺激性でない
種: ウサギ
OECD 404
結果: 刺激性でない
種: ウサギ

Ethyl 4-dimethylaminobenzoate

Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 強い眼刺激。

刺激性腐食性 - 眼

Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide
DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE

OECD 405
結果: 刺激性でない
OECD405
結果: 刺激性

最高群平均スコア

ニッケル , 5
,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione
complexes

OECD 405
結果: 刺激性でない

眼

PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL
DIACRYLATE
Ethyl 4-dimethylaminobenzoate

OECD 405
結果: 刺激性でない
OECD 405
結果: 刺激性でない
種: ウサギ
OECD 405
結果: 刺激性でない
種: ウサギ

Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide

呼吸器または皮膚感作性 該当しない。

呼吸器感作性 呼吸器感作性物質でない。

皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

皮膚感作性

Ethyl 4-dimethylaminobenzoate
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide

OECD 406
結果: Not sensitizing
種: モルモット
OECD 406
結果: 感作を起す
種: モルモット

PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL
DIACRYLATE

OECD 406
結果: 感作を起す
種: モルモット

DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE

OECD 429
結果: ポジティブ
種: マウス

PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL
DIACRYLATE

OECD 429
結果: 感作を起す
厳しさ: EC3=4,6%

ニッケル , 5
,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione
complexes

OECD 429, LLNA
結果: Not sensitizing

生殖細胞変異原性 本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

変異原性

PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 467 結果: 陰性。
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD 476 結果: 陰性。
ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes	OECD 476, HPRT assay 結果: 初*テ17*
生殖細胞変異原性:エームス試験	
ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes	OECD 471 結果: 初*テ17*
DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE	OECD 471 結果: ポジティブ
Ethyl 4-dimethylaminobenzoate	OECD 471 結果: 陰性。
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD 471 結果: 陰性。
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 471 結果: 陰性。
(4-tert-butylcyclohexyl) Prop-2-enoate	OECD471, (類似製品) 結果: 初*テ17*
生殖細胞変異原性:小核	
DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE	OECD 474 結果: 陰性。
Ethyl 4-dimethylaminobenzoate	OECD 474 結果: 陰性。 種: マウス
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 474, (類似製品) 結果: 陰性。
生殖細胞変異原性:染色体異常	
Ethyl 4-dimethylaminobenzoate	OECD 471, 代謝活性なしに 結果: 陰性。
ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes	OECD 473 結果: 初*テ17*
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD 473 結果: 陰性。
Ethyl 4-dimethylaminobenzoate	OECD 473, 代謝活性化を伴う 結果: ポジティブ
(4-tert-butylcyclohexyl) Prop-2-enoate	OECD473, (類似製品) 結果: 初*テ17*

発がん性

本製品または0.1%を超える濃度で存在するいずれかの成分が発がん性であることを示すデータはない。

IARC発がん性評価モノグラフ

ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes (CAS 68511-62-6) 1 ヒトに発がん性である。

NTP発がん性物質レポート

ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes (CAS 68511-62-6) ヒト発がん性があることが知られている物質。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

生殖力

ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes	1000 mg/kg体重/日 結果: NOAEL 種: ラット
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 421 結果: 陰性。
DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE	OECD 422, (類似製品) 結果: 陰性。 種: ラット

生殖力

Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide

OECD414

結果: 陰性。

生殖能力 - 男性

Ethyl 4-dimethylaminobenzoate

OECD 421

結果: Adverse effects for fertility

種: ラット

臓器: 睾丸

生殖能力 - 男性および女性PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL
DIACRYLATE

OECD 421

結果: 陰性。

発達効果

Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide

OECD 414

結果: 陰性。

種: ラット

特定標的臓器毒性 (単回暴露) 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。**特定標的臓器毒性 (反復暴露)** 分類基準に該当しない。ニッケル, 5,5'-azobis-2,4,6-(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione
complexes

> 1000 mg/kg体重/日, 28 days oral

結果: NOAEL

PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE

OECD 407

結果: 陰性。

種: ラット

Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide

結果: 陰性。

種: ラット

試験期間: 90 D

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性でない。

12. 環境影響情報**環境影響データ**

成分	種		試験結果
DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE (CAS 94108-97-1)			
水生			
急性			
魚類	LC50	魚類	1.2 mg/l, 96 h
Ethyl 4-dimethylaminobenzoate (CAS 10287-53-3)			
水生			
急性			
甲殻類	LC50	ミジンコ	31.8 mg/l, 48 h
藻	EC50	藻	2.8 mg/l, 72 h
魚類	LC50	魚類	1.9 mg/l, 96 h
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide (CAS 162881-26-7)			
水生			
急性			
甲殻類	LC50	ミジンコ	1.1 mg/l, 48 h Supersaturated suspension
藻	EC50	藻	0.26 mg/l, 72 h Supersaturated suspension
魚類	LC50	魚類	> 90 µg/l, 96 h Supersaturated suspension
慢性			
甲殻類	NOEC	甲殻類	8.1 µg/l, 21 D
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE (CAS 84170-74-1)			
水生			
急性			
甲殻類	LC50	ミジンコ	37 mg/l, 48 h

成分	種		試験結果
藻	EC50	藻	3.4 mg/l, 72 h
魚類	LC50	魚類	2.7 mg/l, 96 h
ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes (CAS 68511-62-6)			
水生			
急性			
甲殻類	EC50	ミジンコ	> 100 mg/l, 48 時間
藻	EC50	藻	> 100 mg/l, 72 時間
生態毒性	長期継続的影響によって水生生物に毒性。		
残留性/分解性	この製品の分解性についてのデータはない。		
生分解性			
パーセント分解 (好気性生物分解)			
Ethyl 4-dimethylaminobenzoate	OECD 301B, Not readily biodegradable 結果: 40		
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	結果: 本質分解性		
ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes	OECD 301F 結果: 0		
生体蓄積性			
生体内蓄積の可能性			
オクタノール / 水分配係数 log Kow			
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	5.8		
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	2.41 - 3.87, Log Kow		
生物濃縮係数			
DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE	388 % v/w		
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	< 5		
土壤中の移動性	本生成物のデータはありません。		
吸収			
土壌/沈殿物への吸着 - Log Koc			
Ethyl 4-dimethylaminobenzoate	結果: 2,8		
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	3.85		
オゾン層への有害性	データなし		
他の有害影響	その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは期待されません。		

13. 廃棄上の注意

適用される全ての法規に準拠して廃棄しなければならない。

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない (「廃棄上の注意」 参照) 。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないでください。内容物 / 容器を地域 / 地方 / 国 / 国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number	3082
UN proper shipping name	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE, (4-tert-butylcyclohexyl) Prop-2-enoate)
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary risk	-

Packing group	III
Environmental hazards	Yes
ERG Code	9L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	Allowed with restrictions.

IMDG

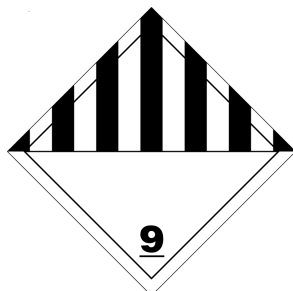
UN number	3082
UN proper shipping name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (DI(TRIMETHYLOLPROPANE) TETRAACRYLATE, (4-tert-butylcyclohexyl) Prop-2-enoate), MARINE POLLUTANT
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary risk	-
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-A, S-F

Special precautions for user Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

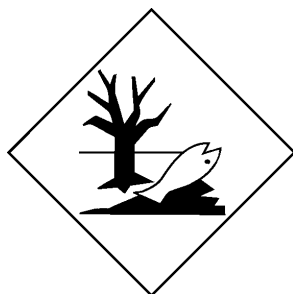
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送
一般情報

IMDGに定める海洋汚染物質。

IATA; IMDG



海洋汚染物質



国内規制 国内輸送については 15 章の規制に従うこと。

緊急時応急措置指針番号 171

15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

第二類物質

ニッケル化合物 (24に掲げる物 (ニッケルカルボニル)を除き,粉状の物に限る.)

通知対象物

ニッケル化合物

別表第9 政令番号 418

1.0 - 2.5 %

表示対象物

ニッケル化合物

1.0 - 2.5 %

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

ニッケル化合物	政令番号 309	1.6 %	(ニッケル , 5 ,5'-azobis-2,4,6(1H,3H,5H)-pyrimidinetrione complexes)
---------	----------	-------	--

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則

有害性物質

航空法・施行規則

その他の有害物質

火薬類取締法

該当せず。

水質汚濁防止法

リン

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月
JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

この安全データシートの情報は、現在の知見ならびに現行の法規に基づくものであり、かつ、正確であると考えられています。この情報は製品の健康、安全、環境側面に関する指針を提供し、また特異性、技術的性能、あるいは特殊用途のための適合性に対する保証として解釈されることはありません。本製品は、セクション 1 に記載されている以外の目的に使用しないでください。本書はセクション 1 の法域の要求により整えられたものであり、他の国や地域における規制上の要件にあうものとは限りません。本安全データシートに記載されている情報は、安全衛生の適用される法規により要求されているように、使用者自身の職場のリスク評価に代わるものではありません。

改訂情報

暴露防止及び保護措置: 手の保護具